

### ■第3回策定会議の意見の振り返り

項目	意見	
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の見やすい表現</li> <li>・シンプルな色づかい</li> <li>・内容の重複を避ける</li> </ul>	
表紙	—	
1. 災害から身を守る	西区の災害特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内湾奥の沿岸部も「遠州灘・浜名湖沿い」のエリアに加える（津波の恐れがある地域）</li> </ul>
	避難行動ページ全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルな避難行動の表現</li> <li>・災害ごとの表現の統一</li> <li>・ポイントが分かるような文字サイズで表現</li> <li>・家族のひとり一人に自分の避難行動を考えさせる工夫（書き込み式など）</li> </ul>
	地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんな時どうする」にデパートや地下街などを追加</li> <li>・海拔0m、遠州灘から0mを明記</li> </ul>
	津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な内容を強調した表現</li> <li>・どこに逃げるかを決めておく旨を追加</li> <li>■津波による被害の目安を記載（木造家屋は0mで全壊等）</li> <li>▲要援護者の車による避難についての記載を検討</li> <li>・「より高いところへ避難する」を目立つ表現とする</li> <li>・津波避難ビルまでの避難経路を書き込める地図の検討（地図が小さくて見にくい）</li> <li>・サイレン以外の情報伝達方法</li> <li>・「てんでんこ」の考え方を表現</li> </ul>
	風水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「避難勧告」と「避難指示」の違いを表現</li> <li>・「避難判断水位」をイメージしやすく表現</li> <li>・2階に上がる方が安全な場合もあることを記載</li> <li>・水位の図面の掲載を再考</li> <li>▲「雨の降り方と雨量の目安」の掲載を再考</li> </ul>
	地震被害想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでも発行されてきた図面のため、表現方法を工夫</li> <li>・液状化現象の危険度と避難時の留意点を記載</li> </ul>
	防災施設マップ	▲福祉避難所の掲載を検討
2. 災害に備える	情報を得る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達方法を記載</li> </ul>
	事前にできること	—
	災害時に役立つ知識	—
	災害時要援護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者の表現方法を次回検討する</li> </ul>
	自主防災隊	—
防災カード	—	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内DIGを提案</li> <li>・避難時に玄関先に貼り出し（〇〇に避難します等）を提案</li> </ul>	

■：別冊に掲載する事項